

# 自分の考えを書くことを楽しむ子どもの育成

## —短歌鑑賞の言葉を模倣する活動の試験的实施—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 言語・社会科学系（国語）

氏名 後藤 歩

国語科で言葉の使い方を学び、自分の考えを表現することに親しみ、他教科の学習にも進んで取り組もうとする生徒を育てたいと考え、自分の考えを書く活動に取り組んだ。

表現したい内容を比較的短時間で発見できる題材として、短歌とその解説文を取り上げた。短歌を鑑賞し、自分の考えを書く活動をする。その際、歌人が書いた解説文から模倣できる表現を探し、それを使って自分の考えを書く活動を行う。書く内容を発見するとともに、文章を書くことへの抵抗感を減らせると考えた。

歌人の使った表現を模倣することによって、生徒たちは鑑賞文を書くことに意欲的に取り組むことができた。あわせて、優れた表現を模倣することは、生徒たちが普段使っている表現とは異なる表現を進んで使おうとすることにつながった。課題としては、模倣する表現の分類を明確にすることだ。「何が書かれているのか」「自分はどう感じるのか」をより明確にして書くことができるようになるのではないかと考える。この手法を、短歌の鑑賞文作成だけでなく、他の文章を書くときにも生かせる授業構想を模索したい。